

投資家の皆さまへ

2010年2月

頭取 中西 勝則

Dream with you.



SHEZUOKA BANK

静岡銀行



目次

2009年度第3四半期決算の概要

第3四半期決算の状況	1
貸出金	2
不良債権	3
与信費用	4
有価証券	5
預金等	6
預貸金利回り	7
預り資産	8
手数料収益	9

経費	10
自己資本比率の状況	11
売出しの概要	12
業績予想および株主還元の様況	13

資料編

法人部門の取組み (地域密着型金融)	14
海外進出支援	15
個人部門の取組み	16
グループの様況	17

2009年度第3四半期決算の概要

Dream with you. 
SHIZUOKA BANK

静岡銀行



第3四半期決算の状況

《連結》

(億円)	08年度 第3四半期	09年度 第3四半期	前年同期比
経常収益	1,739	1,645	△95
経常利益	154	382	228
四半期(当期)純利益	87	241	154

《静岡銀行単体》

(億円)	08年度 第3四半期	09年度 第3四半期	前年同期比
経常収益	1,537	1,434	△103
業務粗利益	1,088	1,182	+94
資金利益	972	987	+15
役務取引等利益・特定取引利益	133	115	△18
その他業務利益 (うち国債等債券関係損益)	△17 (△38)	80 (66)	+97 (+104)
経費 (△)	597	615	+18
基礎的業務純益 ※	529	501	△28
一般貸倒引当金繰入額 (△)	94	71	△23
業務純益	397	497	+100
臨時損益	△266	△134	+132
うち不良債権処理額 (△)	144	129	△15
うち株式等関係損益	△126	6	+132
経常利益	131	363	+232
四半期(当期)純利益	86	238	+152

【単体決算進捗率】

- 業務粗利益(78.8%) ●業務純益(80.8%)
- 基礎的業務純益(76.6%)
- 経常利益(71.9%) ●当期純利益(77.9%)

(億円)

[資金利益内訳]	09年度 第3四半期	前年同期比
国内業務部門	903	△6
うち貸出金利息	822	△69
有価証券利息配当金	171	+1
預金等利息 (△)	85	△62
国際業務部門	84	+21

[与信費用] (億円)

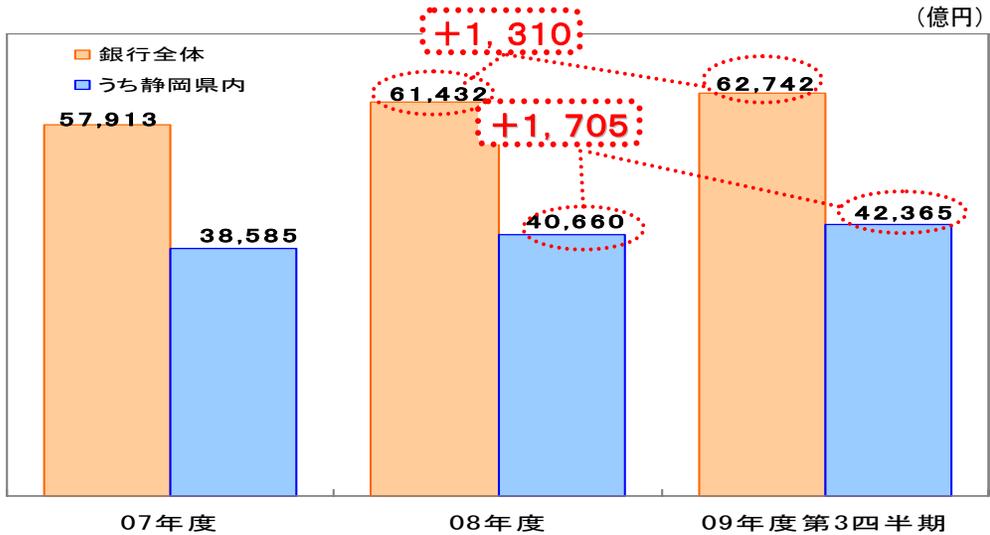
与信費用(△)	199	△38
うち一般貸倒引当金繰入額(△)	71	△23
個別貸倒引当金繰入額(△)	115	△20

[株式等関係損益内訳] (億円)

株式等関係損益	6	+132
うち株式等売却益	26	+18
株式等償却(△)	14	△118

※基礎的業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券関係損益

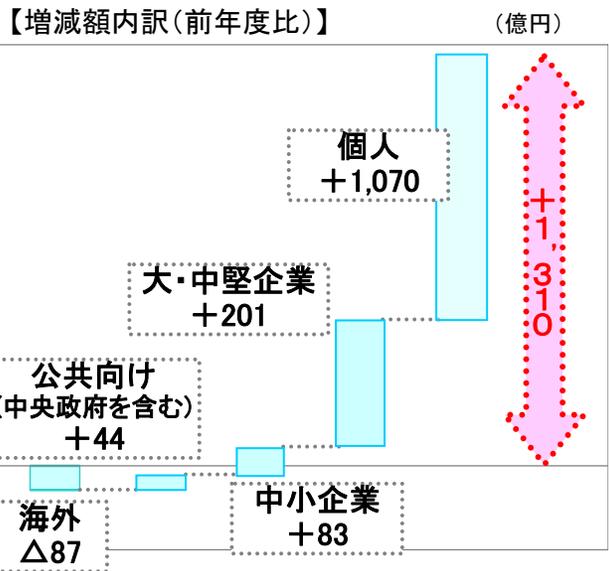
総貸出金残高（平残）の推移



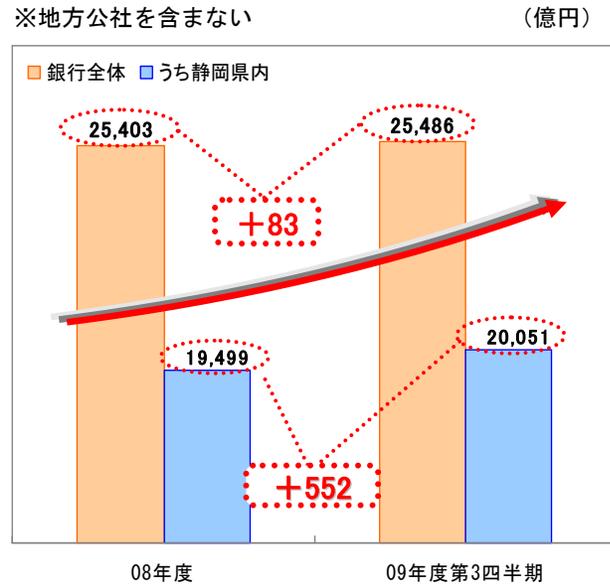
●09年度第3四半期の総貸出金残高（平残）は62,742億円と前期比+1,310億円の増加

- ・ 中小企業向け貸出金残高25,486億円
前期比+83億円（うち県内+552億円）
- ・ 個人向け貸出金残高20,559億円
同+1,070億円（うち県内+770億円）
- ・ 保証協会残高（12月末）7,086億円
（うち緊急保証 2,511億円）

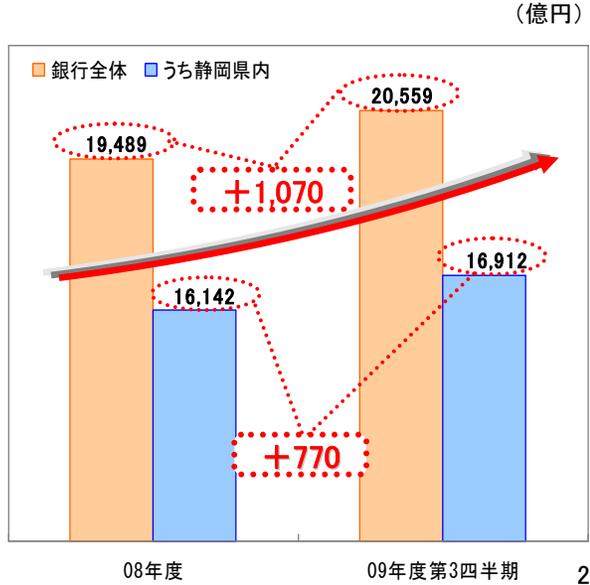
貸出金（平残）の増減内訳



うち中小企業向け貸出金残高（平残）の推移



うち個人向け貸出金残高（平残）の推移

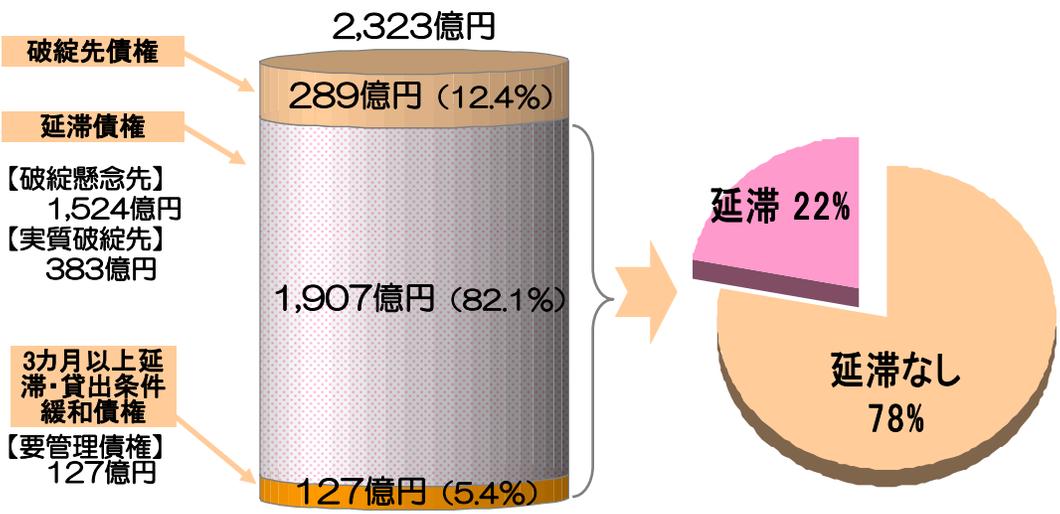


不良債権

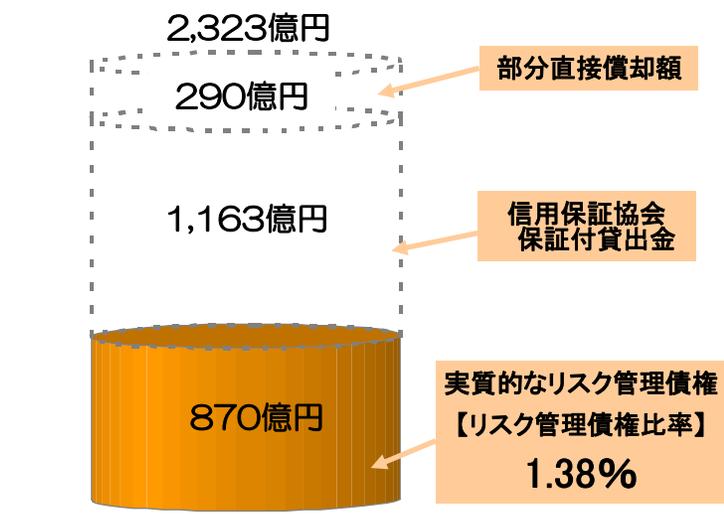
リスク管理債権の状況（単体ベース）

- 09年12月末のリスク管理債権の総額 2,323億円（09年3月末比+241億円）
- リスク管理債権比率 3.66%（同 +0.39ポイント）
 - ・部分直接償却を実施した場合の290億円と、信用保証協会の保証付貸出金の1,163億円を控除した場合のリスク管理債権総額870億円、実質的なリスク管理債権の割合1.38%（同 ±0ポイント）

リスク管理債権の内訳



実質的なリスク管理債権



不良債権のオフバランス化

(億円)	07年度	08年度	09年度上期	09年度 第3四半期(3カ月)
新規発生	+ 6 9 3	+ 8 9 2	+ 4 6 9	+ 2 8 8
オフバランス化 (うち破綻懸念先以下)	△ 7 0 6 (△ 6 0 0)	△ 7 6 5 (△ 5 3 2)	△ 3 3 0 (△ 3 0 4)	△ 1 8 6 (△ 1 4 8)
リスク管理債権	1, 9 5 5	2, 0 8 2	2, 2 2 1	2, 3 2 3

+241

与信費用

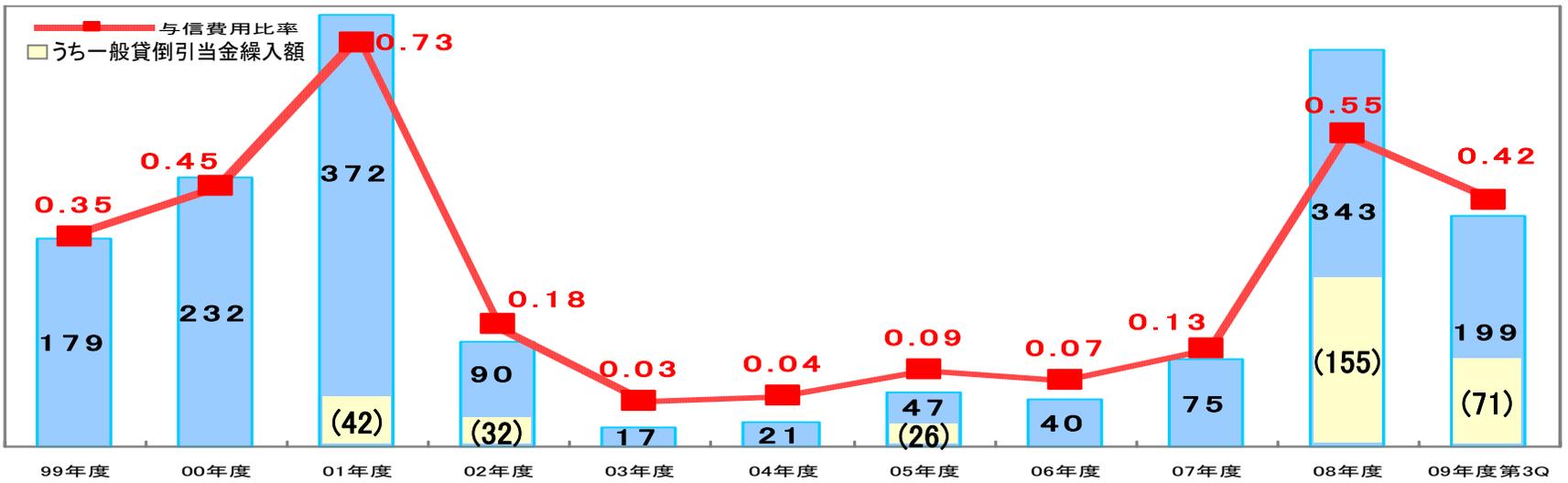
与信費用：09年度第3四半期 199億円（前年同期比△38億円）
 与信費用比率：09年度第3四半期 0.42%（前年同期比△0.10%）

【与信費用内訳】

- 一般貸倒引当金繰入額 71億円（前年同期比 △23億円）
- 不良債権処理額 129億円（ // △15億円）
 - うち個別貸倒引当金繰入額 115億円（ // △20億円）

・債務者区分の変更等 156億円
 ・担保評価下落等 9億円
 ・格上、回収等による取崩 △50億円
 合計 115億円

与信費用・与信費用比率の推移

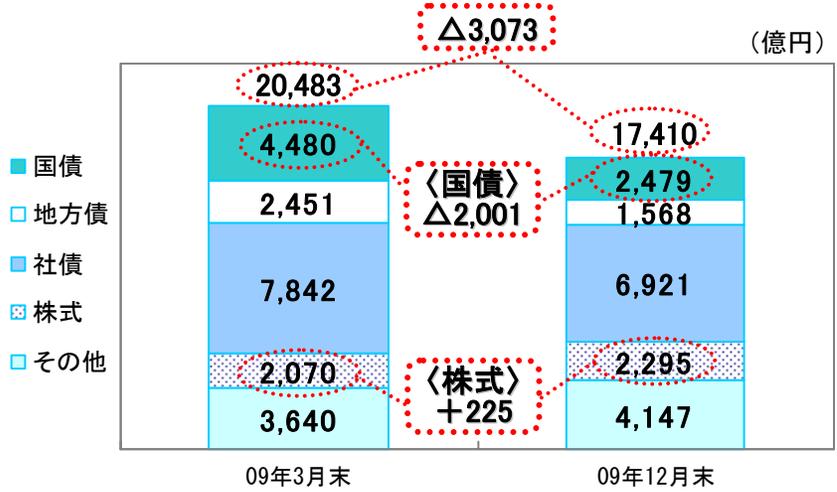


※与信費用＝不良債権処理額＋一般貸倒引当金繰入額－貸倒引当金取崩額
 与信費用比率＝与信費用÷貸出金平残
 07年度以降の不良債権処理額には信用保証協会責任共有制度に関する偶発損失引当金繰入額等を含む

有価証券

- 09年12月末の有価証券残高 17,410億円（09年3月末比 $\Delta 3,073$ 億円）
- 09年12月末の株式・債券・投資信託等の有価証券評価損益+1,228億円（同 +586億円）
うち株式評価損益+1,066億円（同 +380億円）

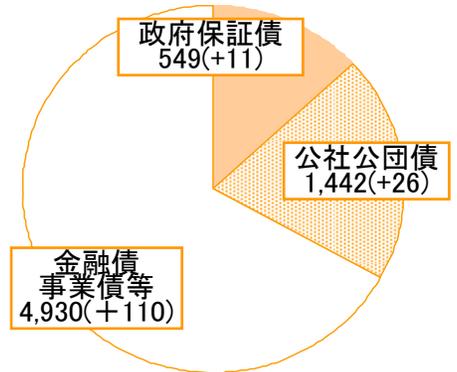
有価証券残高の推移



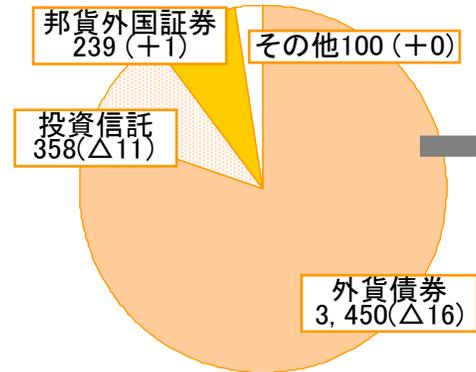
債券平均残存期間・有価証券評価損益の推移

	09年3月末	09年12月末
円債デュレーション	3.90年	3.89年
外債デュレーション	1.09年	2.75年
有価証券評価損益	642億円	1,228億円
うち株式	686億円	1,066億円
日経平均株価	8,109.53円	10,546.44円

社債6,921億円の内訳 (09年3月末比 $\Delta 921$ 億円)



その他4,147億円の内訳 (09年3月末比+507億円)

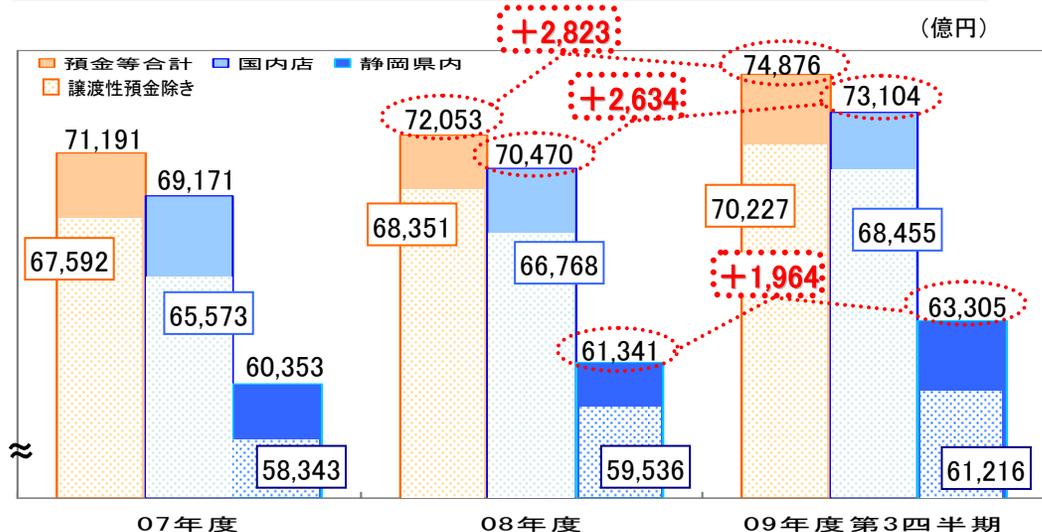


外貨債券の主な内訳

	(簿価)		(評価損益)
		09/3比	
ジニーメイ	2,830	+943	$\Delta 15$
ファニーメイ	22	$\Delta 9$	$\Delta 0$
フレディマック	195	$\Delta 71$	$\Delta 4$
米国債	35	+35	$\Delta 1$

※ () 内は評価損益

総預金等残高（平残）の推移

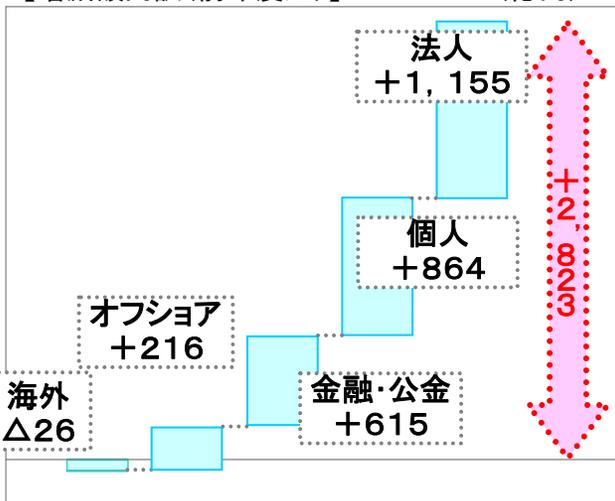


●09年度第3四半期の譲渡性預金を含む総預金等残高（平残）は74,876億円と前期比+2,823億円の増加

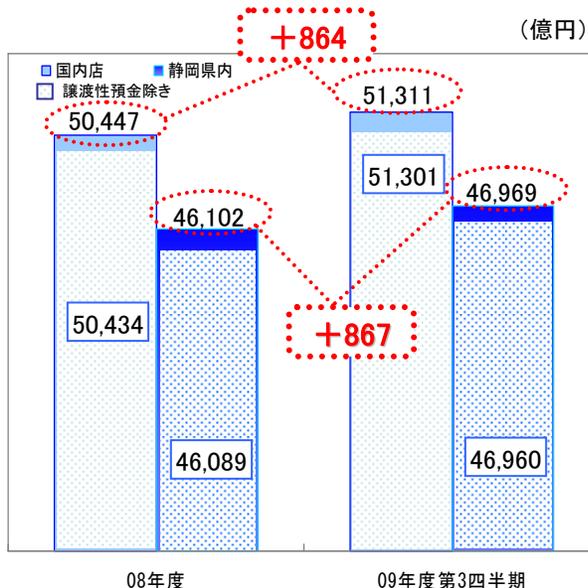
- ・国内営業店預金等残高73,104億円
前期比+2,634億円
- ・静岡県内預金等残高63,305億円
同+1,964億円
- ・個人預金等残高51,311億円
同+864億円
- ・法人預金等残高18,440億円
同+1,155億円
- ・預貸率83.8%

総預金等残高（平残）増減額の内訳

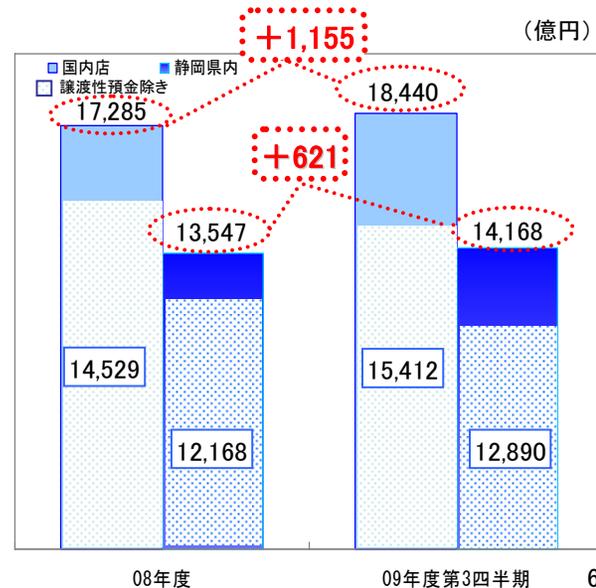
【増減額内訳(前年度比)】 (億円)



うち個人預金等残高（平残）の推移



うち法人預金等残高（平残）の推移



預貸金利回り

●09年12月の預貸金利回り差は、09年3月末比△0.04ポイントの低下

円貨貸出金・預金構成の変化（単月比較）

	【09年3月】		【09年12月】（兆円、%）	
	平残(構成比)	利回り	平残(構成比)	利回り
貸出金	6.2 (100.0)	1.84	6.2 (100.0)	1.76
変動金利	4.4 (71.4)	1.80	4.5 (72.5)	1.70
うち短プラ・新長プラ基準	2.7 (43.6)	2.19	2.8 (45.8)	2.09
うち市場連動	1.6 (26.2)	1.09	1.6 (25.2)	0.91
固定金利	1.8 (28.6)	1.95	1.7 (27.5)	1.91

△0.08

【預貸利回り差】 +1.66

△0.04

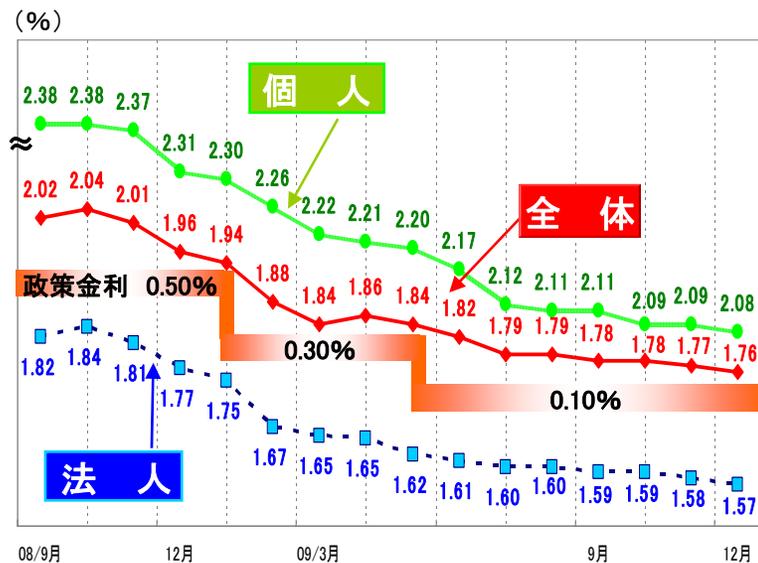
+1.62

	【09年3月】		【09年12月】	
	平残(構成比)	利回り	平残(構成比)	利回り
預金等	7.1 (100.0)	0.18	7.3 (100.0)	0.14
うち流動預金	3.9 (55.4)	0.02	3.9 (52.7)	0.02
うち定期性預金	2.8 (41.1)	0.37	3.0 (40.5)	0.28

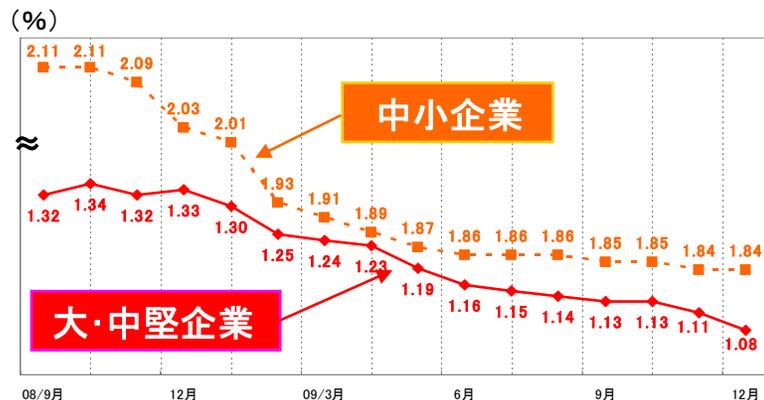
△0.04

※預金等はNCDを含む

貸出金利（月中平均）の推移



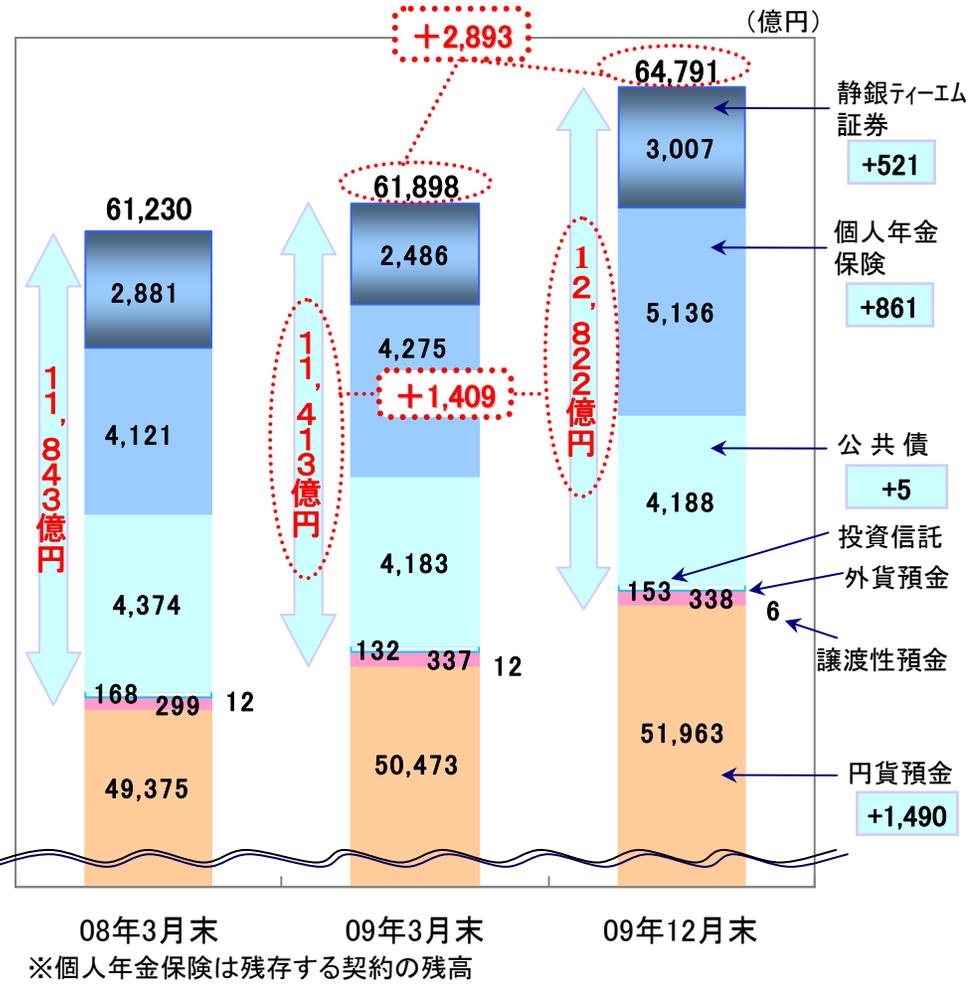
うち企業規模別法人貸出金利の推移



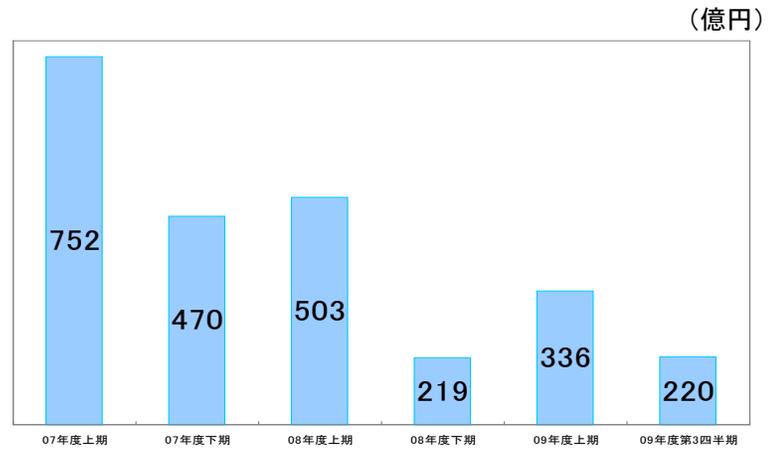
預り資産

- 09年12月末の静銀ティーム証券(株)を含む個人預り資産残高 64,791億円 (09年3月末比+2,893億円)
うち円貨預金および譲渡性預金を除く個人預り資産残高 12,822億円 (同 +1,409億円)
- 個人年金保険については地方銀行でトップ水準の販売額を維持

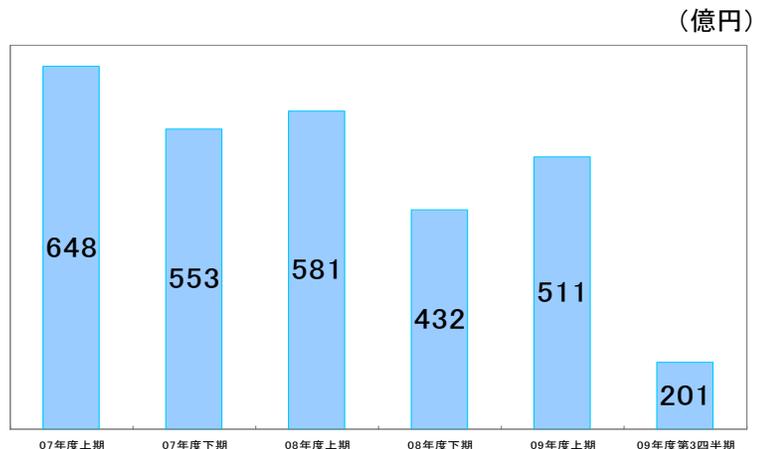
個人預り資産（末残）の推移



投資信託販売額（静銀ティーム証券含む）の推移



個人年金保険窓販額の推移

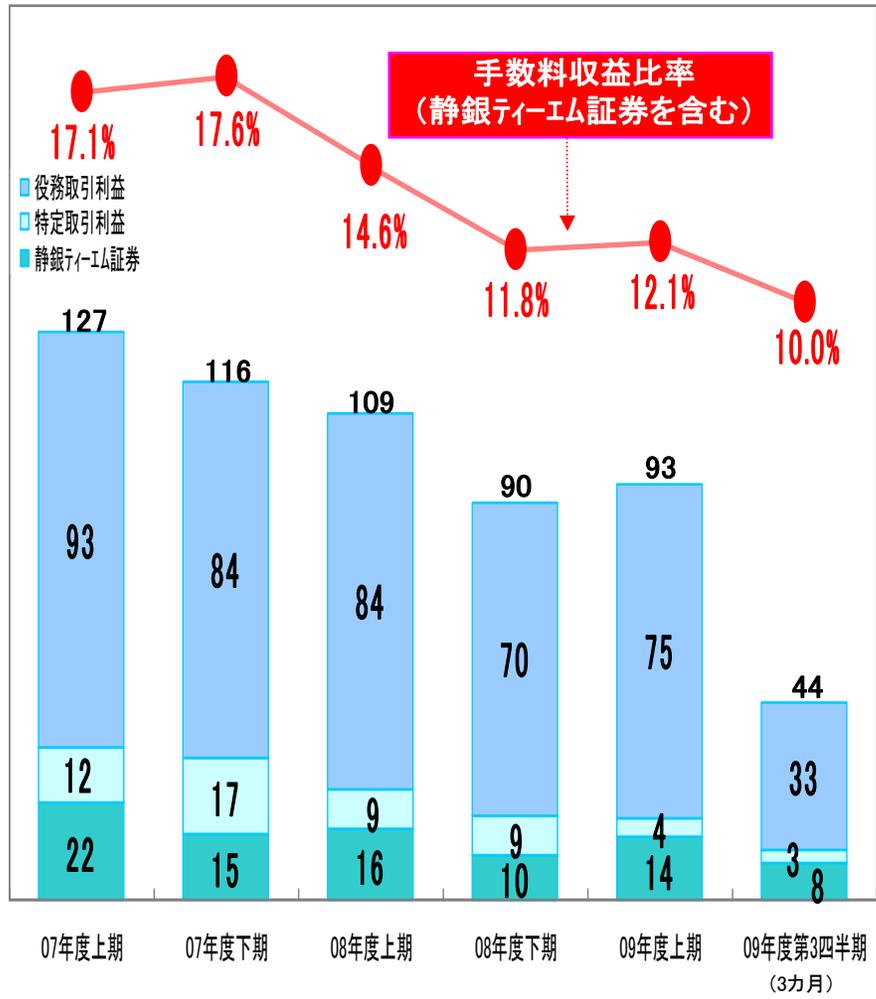


手数料収益

●手数料収益は投資信託、保険窓販の販売低迷により減少

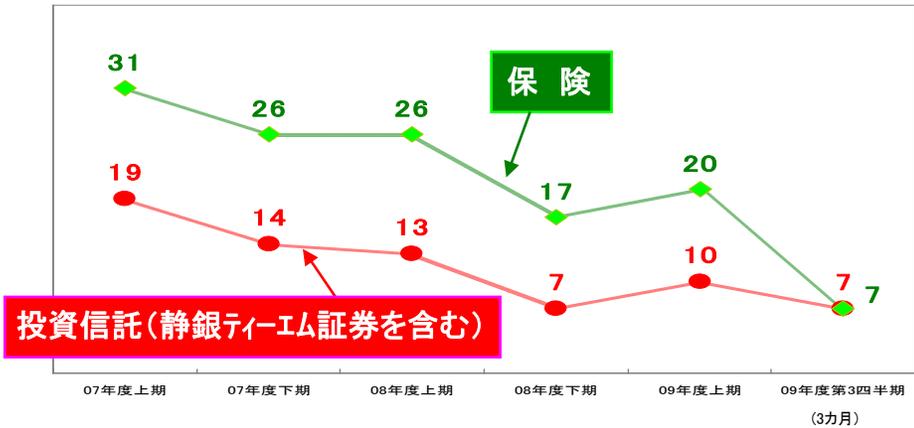
手数料収益（銀行・静銀ティーエム証券）

（億円）



投資信託・保険販売の手数料収益

（億円）

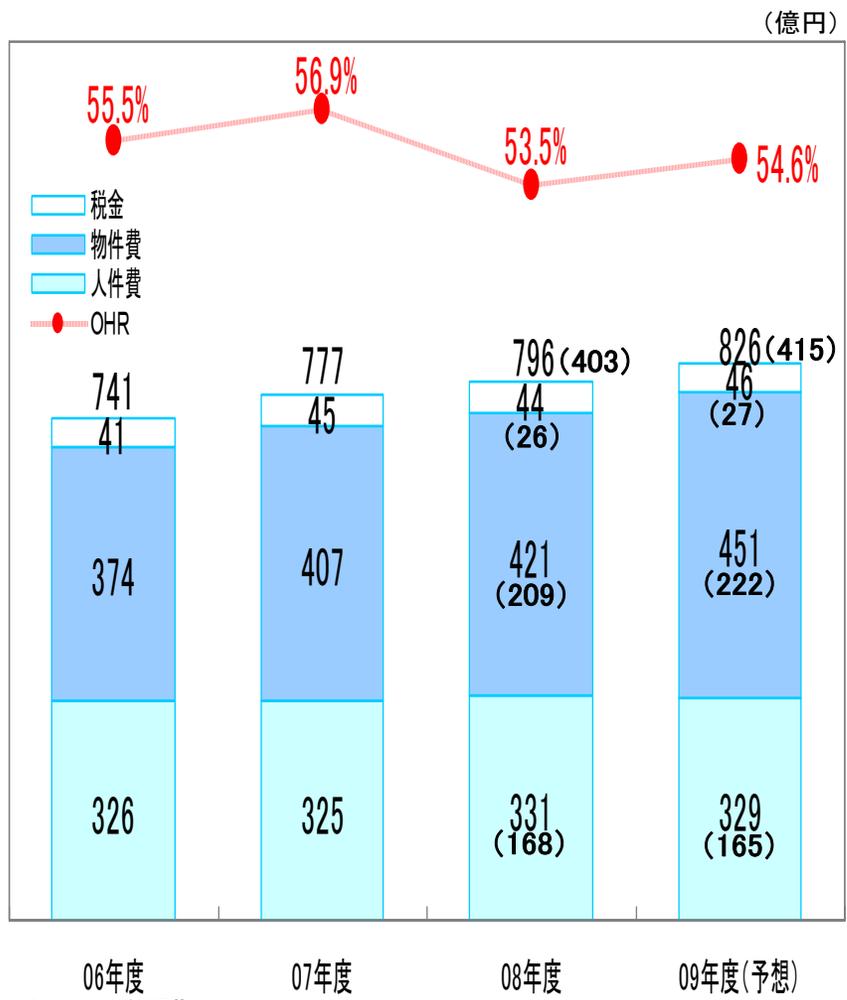


手数料収益・費用（役務取引等）

〔単体〕	09年度 第3四半期	前年同期比
手数料収益	170億円	△5億円
代理事務手数料 (保険窓販手数料など)	31億円	△6億円
受入雑手数料	68億円	+4億円
手数料費用	62億円	+4億円
支払雑手数料	25億円	+3億円

- 09年度経費は、営業店の生産性向上のための業務効率化に向けた投資により増加を見込む
- OHR は55.0%を目安にコントロール

経費およびOHRの推移



物件費の推移

(億円)	07年度	08年度	09年度上期
物件費	407	421	222
システム関連	123	129	72
事務委託費	75	80	40
その他	209	212	110

人員の推移

(人)	08年3月末	09年3月末	11年3月(計画)
営業店フロント	2,411	2,685	2,925
うち行員	1,794	1,982	2,165
営業店バック・アシスト	1,693	1,506	752
うち行員	548	325	115
本部・融資業務センター・その他	1,060	1,096	963
うち行員	509	534	470
銀行全体 (A)	5,164	5,287	4,640
うち行員	2,851	2,841	2,750
グループ会社等計 (B)	1,873	1,927	2,540
グループ総人員 (A+B)	7,037	7,214	7,180

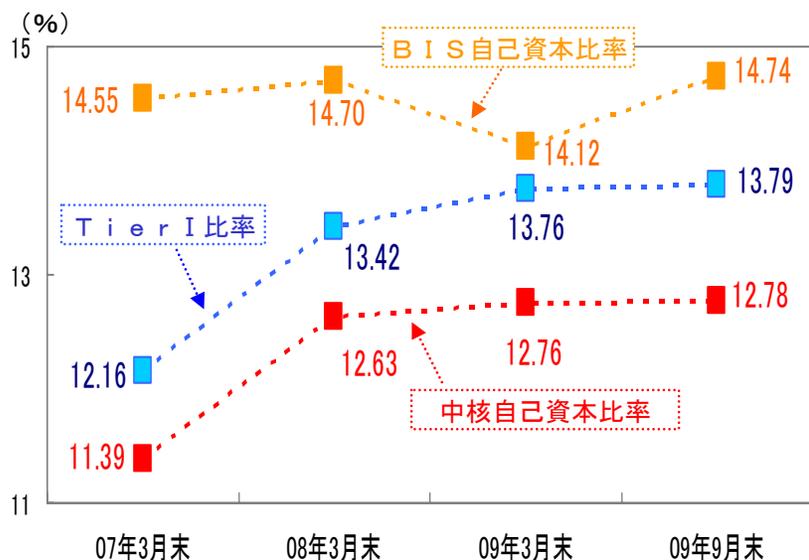
※臨時雇、派遣社員等を含む



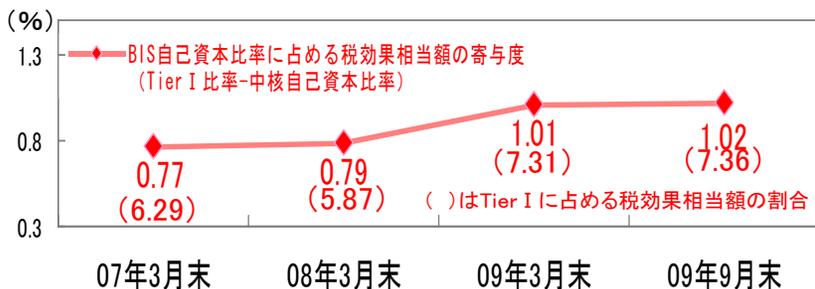
自己資本比率の状況

- 09年9月末バーゼルⅡによる自己資本比率は14.74%と、利益積上げによるTier Iの増加、有価証券評価益の増加によるTier IIの増加などにより、21年3月末比+0.62ポイントの上昇
- Tier I比率 13.79% (+0.03ポイント)、中核自己資本比率 12.78% (+0.02ポイント)

BIS自己資本比率（連結ベース）



【参考】中核自己資本比率=Tier I - 繰延税金資産相当額※
 ※その他有価証券評価差額金等対応分を除く



自己資本およびリスク・アセット等の推移

	07年 3月末	08年 3月末	09年 3月末	09年 9月末	09年 3月末比
自 己 資 本	6,919	6,504	6,234	6,645	+411
うち Tier I	5,785	5,938	6,078	6,217	+139
うち中核自己資本	5,421	5,589	5,633	5,759	+126
うち Tier II	1,365	791	291	550	+259
リスク・アセット等	47,549	44,232	44,148	45,052	+904
信用リスク・アセットの額	44,620	40,895	40,945	41,842	+897
マーケット・リスク相当額に係る額	220	220	248	223	△25
オペレーショナル・リスク相当額に係る額	2,709	2,837	2,954	2,987	+33
フロア調整額	-	280	-	-	-

※バーゼルⅡの計算方法は、信用リスクが基礎的内部格付手法、オペレーショナルリスクが粗利益配分手法を採用

アウトライヤー比率（09年第3四半期：単体ベース）

銀行勘定の金利リスク量	Tier I + Tier II	アウトライヤー比率
572億円	6,693億円	8.54%



売出しの概要

発行体	株式会社静岡銀行
証券コード	8355(東証1部)
形態	普通株式売出し
売出株数(オーバーアロットメント含み)	普通株式 29,900,000株
ブックビルディング期間	2010年1月15日(金)~1月18日(月)(条件決定日)まで
条件決定日	2010年1月18日(月)
申込期間	2010年1月19日(火)~1月20日(水)
受渡期日	2010年1月26日(火)
主幹事	野村證券株式会社
売出しの目的	株主分布状況の改善や流動性の向上を図ることに加え、株主数の増加を通じたコーポレートガバナンスの一層の強化
売出価格	1株につき799円(総額23,890百万円)
販売状況(全体)	リテール投資家 27,070千株(90.5%)、機関投資家 2,830千株(9.5%)



業績予想および株主還元の様況

- 09年度の1株当たり中間配当額は6.50円
- 09年度の1株当たり配当額（年間）については、「配当性向25%程度かつ大手地銀最高水準」の配当維持を目指し、市場動向、業績等を総合的に勘案して決定する方針のもと、13円を予定

業績予想

（億円）

【連結】	09年度予想 (11月公表値)
経常収益	2,110
経常利益	528
当期純利益	308

（億円）

【単体】	09年度予想
経常収益	1,850
業務純益	615
基礎的業務純益	655
経常利益	505
当期純利益	305

配当額の推移

（ ）は中間配当額

	08年度	09年度予想
一株当たり配当額(年間)	13.00円	13.00円(6.50円)
配当利回り(配当/期末株価)	1.47%	—

株主への利益配分の状況

（単位：億円、%）

	99～08年度 (10年間)
年間配当額①	644(累計)
自己株式取得額②	850(累計)
株主還元額③=①+②	1,494(累計)
当期純利益④	2,426(累計)
配当性向①/④×100	26.54(平均)
株主還元率③/④×100	61.57(平均)

資料編

Dream with you.



SHIZUOKA BANK

静岡銀行

法人部門の取組み(地域密着型金融)

- ビジスマッチング、次世代経営者塾「Shizuginship」に取組み、取引先の事業拡大・後継者育成に寄与
- 地域経済に与える影響が大きい企業を中心に各種再生手法を活用し、迅速かつ円滑な事業再生を支援

ビジスマッチング

〔成約実績および融資実行額〕

	07年度	08年度	09年度 12月末
実績	822件	2,257件	1,836件
融資額	440億円	323億円	260億円



Shizuginship

- 会員数 (09年12月末)
760社、1,153名
- セミナー・視察会の参加者数
2,312名



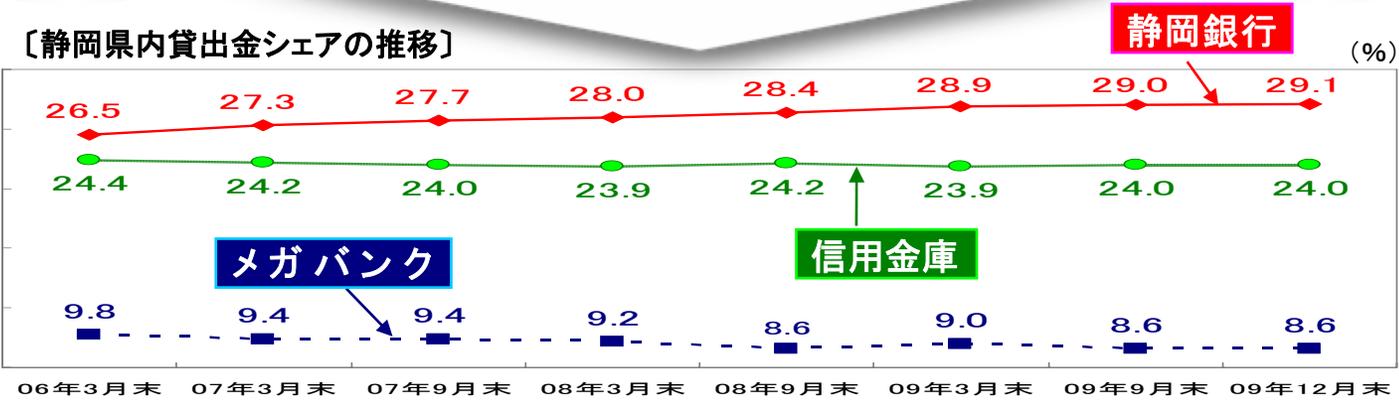
経営改善支援 事業再生支援

〔事業再生支援完了件数〕

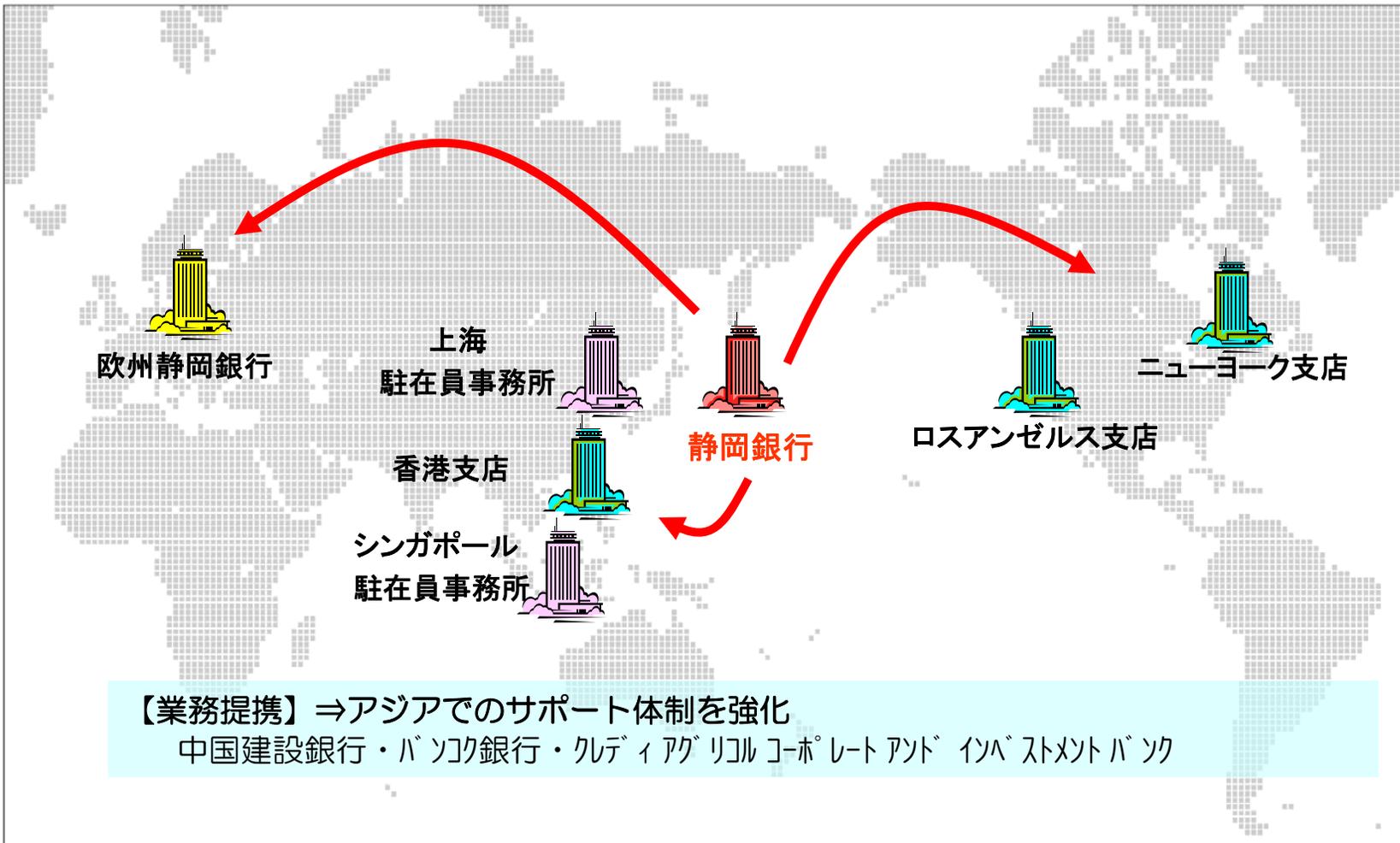
	07年度	08年度	09年度 12月末
件数	19件	17件	16件



〔静岡県内貸出金シェアの推移〕



- 米国、上海、香港、シンガポール、欧州の静岡銀行グループ海外拠点から、現地の有益な情報を提供



個人部門の取組み

預金

〈安定した預金の確保〉
年金・給振・積立預金



- インターネット支店(09年12月末)
口座数/約18,000
預金残高/198億円

カード

〈joyca〉
09年12月 33万人突破



- 08年7月 「えんてつカード」
取扱開始

預り資産

〈静銀ティーム証券との連携〉
新商品投入・顧客基盤拡大



- 09年8月 保険コンサルティング
業務開始

消費者ローン

〈ローン拠点の強化〉
ローンセンター・ローンデスク



- 09年6月
浜松駅南ローンセンター新設
- 09年11月
厚木ローンデスク新設

「集まる預金」の仕組み

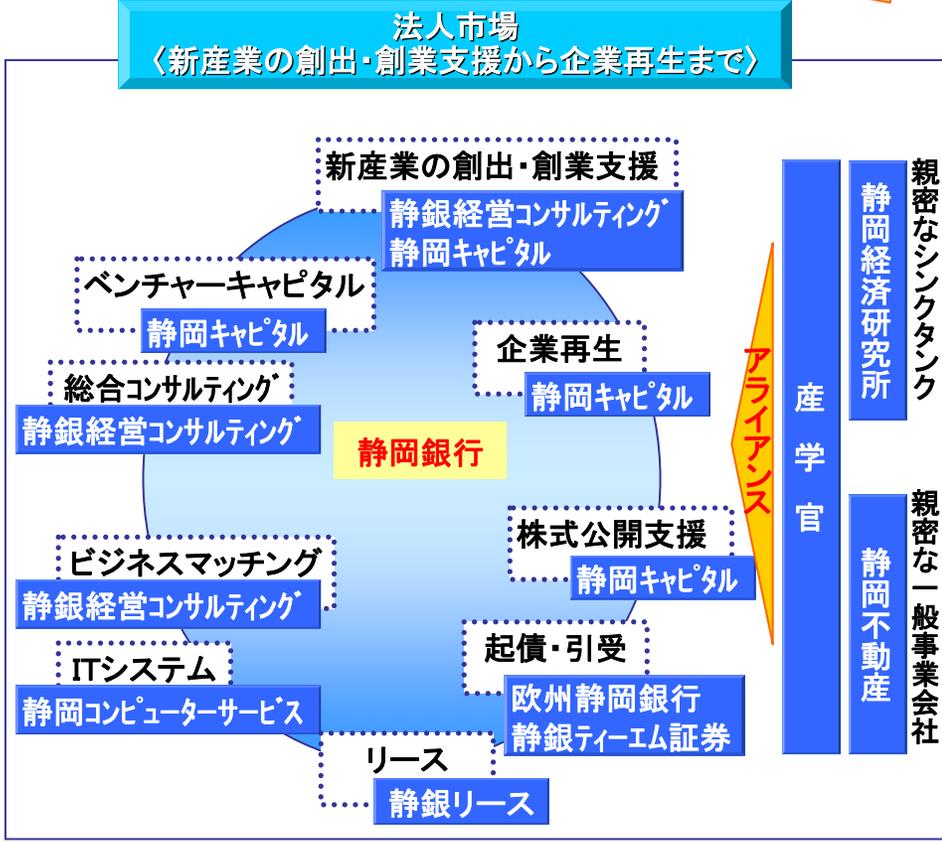
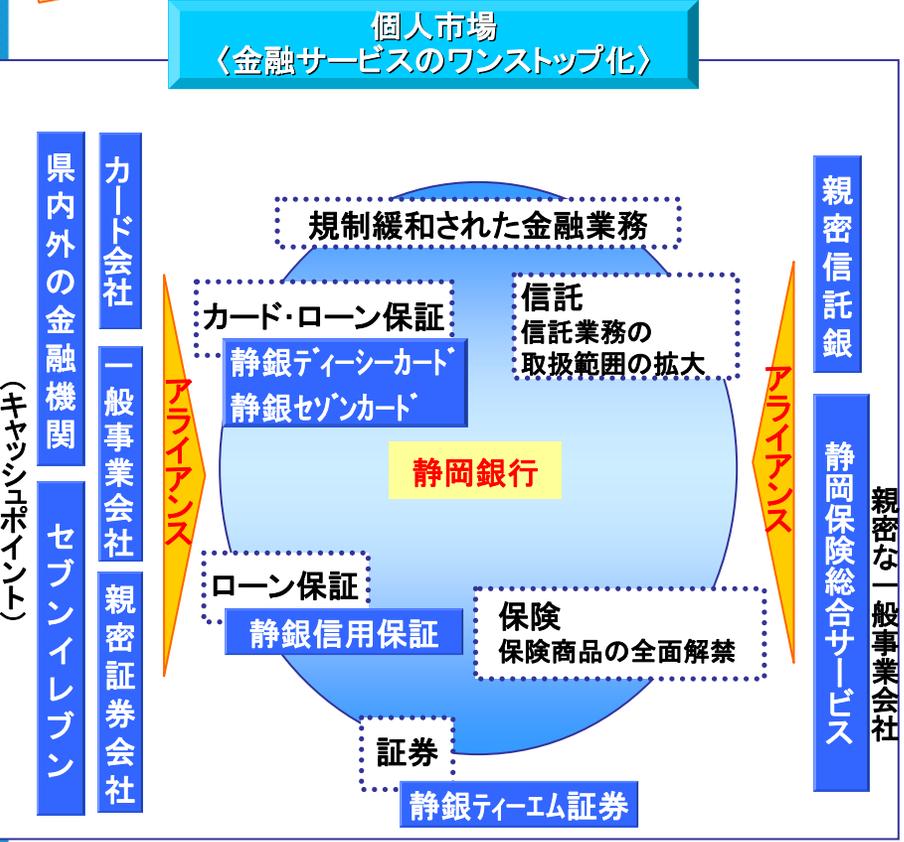
ライフサイクル・コンサルティング

グループの状況

営業エリアの広域化
地域シェアの拡大

グループ事業価値の持続的な成長
「企業の社会的責任」「地域との一体化」

経営システムの標準化
戦略的資本政策の展開



本資料には、将来の業績に関わる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。